



地域の先生と山口赤十字病院をつなぐ

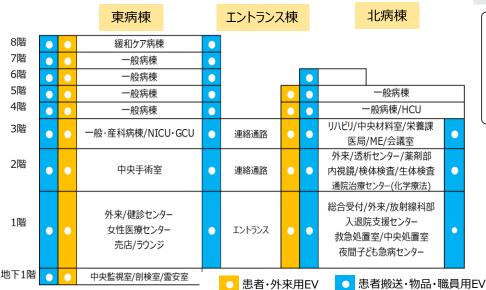
## やまクロcross



## 新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。当院は日赤病院として今年で開設103年目を迎えます。42年間使用した南病棟の老朽化に伴い、病院の建て替えで患者さんに対する利便性と安全の確保とともに病院機能の強化や効率化を図り、2022年10月11日から新北病棟がオープンしました。構造:鉄筋コンクリート及び鉄骨造:地上5階建、延床面積:約1万4千㎡、新規放射線治療:トモセラピーRadixact導入、

主な構成は以下に示す通りです。





【今回の担当医師】 院長 末兼 浩史 (すえかね ひろし)



北病棟外観

新病棟の建設は、築24年目の東病棟(地上8階建て)の改修と合わせ以下4つのコンセプトを掲げて設計しました。

①患者さんにやさしい病院 : わかりやすく移動しやすい動線計画、見通しのきくエリア・ブロック表示、防災対応

明るく広い空間確保などユニバーサルデザイン対応、発熱外来設置・多床室の個室化

②安心安全な病院 : 72時間病院機能を維持するBCP(事業継続計画)対応、電力はガスと非常用重油発電2系

統院内感染を防ぐ動線・設備への配慮(救急・外来・放射線検査・透析室にも陰圧室設)災害

対応(発電機や受変電設備などは2階以上に配置、建築基準法の1.25倍の耐震性能)

③働きやすい病院 : 患者エリアとスタッフエリアの分離、会計、掲示物案内表示の電子化、ICT対応、バリアフリー、

個人情報プライバシー保護など既存の問題点改善と顔の見える笑顔の部門交流を図る計画

④地域になじんだ病院: 歴史的地区になじむ落ち着いた外装、屋内外を活用したアメニティー施設を目指す





北病棟1階共用外来

※ 共用外来では内科(消化器・呼吸器・糖尿病内分泌・腎臓・膠原病)、 脳神経内科、脳神経外科、外科、整形外科等の診療を行っています。

トモセラピー

外来は紹介患者中心に専門外来としての機能を明確化し、プライマリーケア・かかりつけ医機能を担う地域の先生方と協力して役割分担・連携を強化し、再来のスリム化:落ち着いた再来患者の逆紹介推進で時間的余裕を持ち、紹介応需、救急・急患対応への労力シフト増強を図ろうと思います。入院については今後も地域のために緩和ケア病棟と新型コロナ受け入れ病棟は現状維持する必要があり、ダウンサイジングの上で更なる入院期間短縮と急性期病床の確保:常に個室中心の空きベッドを確保・HCUを回転させた救急応需、高齢者においては退院支援ケア重視の地域と密着した施設転院または介護とセットになった安心できる自宅退院の促進を考えてゆきたいと思います。

COVID19感染症はこの3年で流行状況、変異株、政府の対応策等、日々変化していますが、いまだ収束が見えず、地域 医療を担う病院としては発熱トリアージ、院内でのマスク着用・3密回避・手洗い励行と面会制限はしばらく続けさせていただ きます。ご了承ください。今後も、職員の思いやりの心:博愛・医療者としての矜持を維持し、働き甲斐・笑顔・職場環境改 善につながる向上心を欠かさず、地域のクリニックと連携し皆様に信頼される病院づくりに励みたいと思います。

初雪や 赤い瓦の 薄化粧

初空や 明るい未来の 兆しあり